

2014年度決算説明会

平成26年12月期(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

2015年2月12日
ラオックス株式会社
東証2部 証券コード(8202)

目次

1. 2014年度決算

- ①連結損益計算書
- ②連結貸借対照表
- ③連結キャッシュフロー計算書

2. 取組振り返り

- ①国内店舗事業
- ②中国出店事業
- ③貿易仲介事業
- ④全般の取り組み成果

【参考資料】

- ☆当社の概要
- ☆よく質問される主要データ掲載

1. 2014年度決算

連結損益計算書

14年ぶり連結黒字化を達成

(単位:千円)	2013年度実績	2014年度実績	前年度比	備考
売上高	33,150,860	50,196,171	151%増	国内店舗寄与
売上総利益	6,391,784	13,474,310	210%増	粗利率改善 (19.2%→26.8%)
販管費	8,056,502	11,738,180	145%増	売上拡大影響
営業利益	▲1,664,717	1,736,130	—	
経常利益	▲1,656,559	1,778,390	—	
当期純利益	▲3,245,366	1,242,585	—	

連結貸借対照表

売上増加に伴う資産の増加が顕著

(単位:千円)	2013年度実績	2014年度実績	備考
資産合計	15,299,326	18,959,206	売上増加による受取手形及び売掛金の増加と商品及び製品、未収入金の増加がみられた
流動資産合計	9,373,052	13,559,070	
固定資産合計	5,917,503	5,400,135	
負債合計	6,119,092	8,679,997	売上増加に伴う仕入増加による支払手形及び買掛金の増加がみられた
流動負債	4,748,956	7,438,086	
固定負債	1,370,135	1,241,910	
純資産合計	9,180,234	10,279,209	当期純利益の計上による利益剰余金の増加
負債純資産合計	15,299,326	18,959,206	

連結キャッシュフロー計算書

利益化による現金同等物の増加／FCF

(単位:千円)	2013年度実績	2014年度実績
営業活動によるキャッシュフロー	▲383,682	624,838
投資活動によるキャッシュフロー	▲1,099,032	212,294
(フリーキャッシュフロー)	—	837,132
財務活動によるキャッシュフロー	▲112,164	▲24,327
現金及び現金同等物の期末残高	1,908,758	3,220,995

2. 取り組み振り返り

国内店舗事業

出店

7店舗出店（札幌店、沖縄国際通り店、大阪道頓堀店、千歳アウトレットモールレラ店、長崎グラバー通り店、岡山空港店、りんくうシークル店）

粗利

MD部構成人員増強によるMD開発により粗利率5%UP
国内店舗事業粗利2013年29%→2014年34%

MD

メーカー連携強化によるOEM商品等PB商品拡大

営業

インバウンド部設置による営業強化（上海、北京、深圳）

成績

（単位：千円）	2013年度実績	2014年度実績	前年度比	
売上高	13,177,193	34,581,758	162%増	増収増益
セグメント利益	441,478	4,007,463	807%増	

日本政府観光局(JNTO)認定の外国人観光案内所に秋葉原本店、銀座本店が認定。

中国出店事業

リストラ

短期的に黒字化が見込まれない9店舗を閉鎖し赤字縮小

EC

中国市場の動向にあわせ、ECを強化
「Suning.com」に「Laox旗艦店」出店
→銀聯オンラインモール日本館、楽天グローバルマーケットに続き3店目

成績

(単位:千円)	2013年度実績	2014年度実績	前年度比	
売上高	15,091,797	11,212,345	25%減	店舗閉鎖減
セグメント損失	▲1,223,195	▲1,053,694	—	リストラ効果

本事業の目的はメイドインジャパン商品を中国市場で販売することであり、市場動向にあわせ実店舗とECのバランスと融合をはかる

貿易仲介事業

輸入

[電動アシスト自転車の輸入販売]
円安が進行し利益が薄くなったことと品質問題が発生したため事業規模を縮小、赤字縮小をはかった

輸出

[中国で人気のベビー関連用品の輸出]
おむつを国内大手メーカーでOEM生産
中国の小売り店へ卸事業を強化

成績

(単位:千円)	2013年度実績	2014年度実績	前年度比	
売上高	4,115,164	3,836,242	6.7%減	輸入事業縮小
セグメント損失	▲451,122	▲230,431	—	リストラ効果

市場動向にあわせて輸出入のバランスと商品開発を継続

全般の取り組み成果

構造改革

中国子会社の組織体制を再構築⇒貿易・EC・営業強化

教育改革

ラオックス大学の設置（語学、接客）

人財改革

外国籍社員9%⇒36% 男女比9:1⇒2:1（*2009年比）

2014年12月現在17の国籍

平均年齢42歳⇒37歳 年間休日106日⇒120日

2009年蘇寧雲商集団の出資を受け経営体制を刷新し、ビジネスモデルの再構築と組織改革は完了した。⇒**再生完了**。

2015年より、真のグローバル企業としての**成長**をスピード感をもって達成する。

参考資料

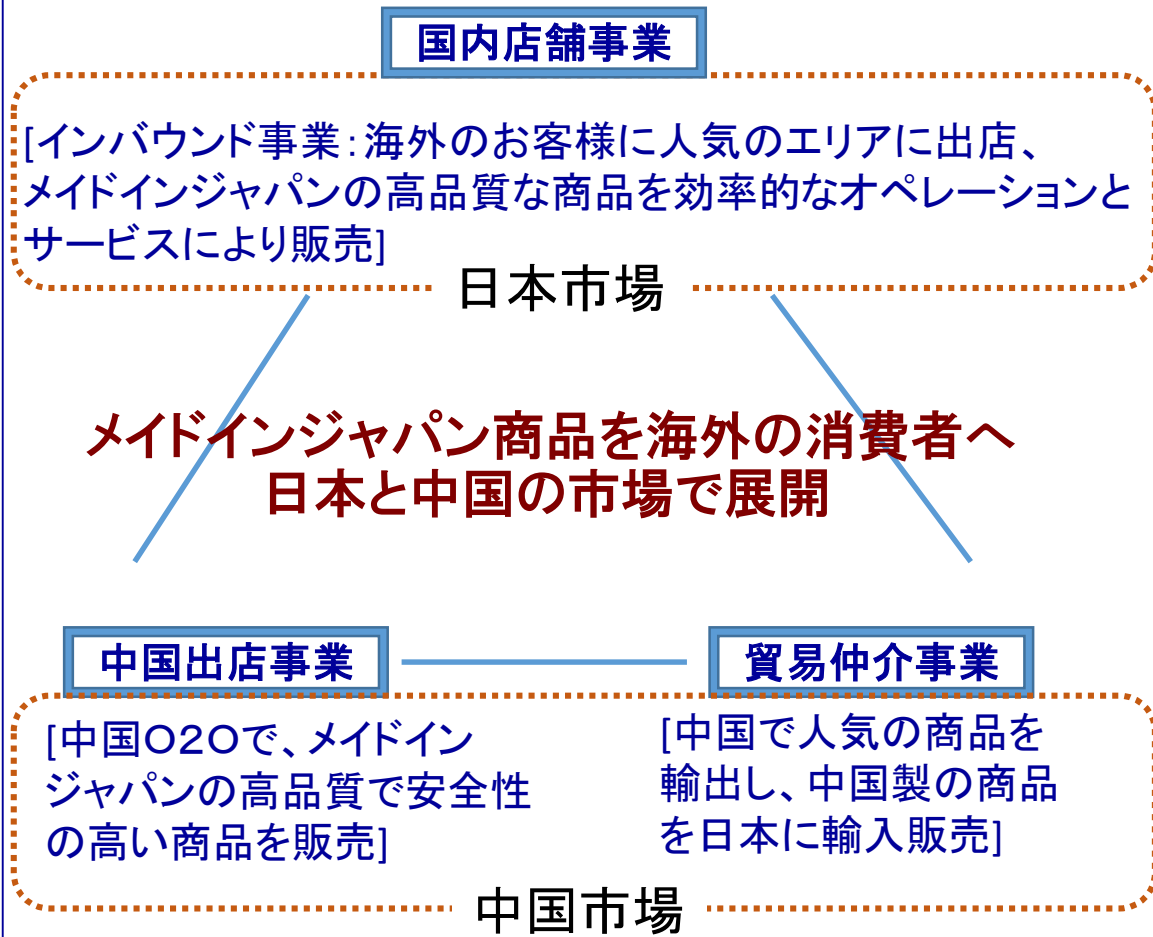
当社の概要

【歩み】

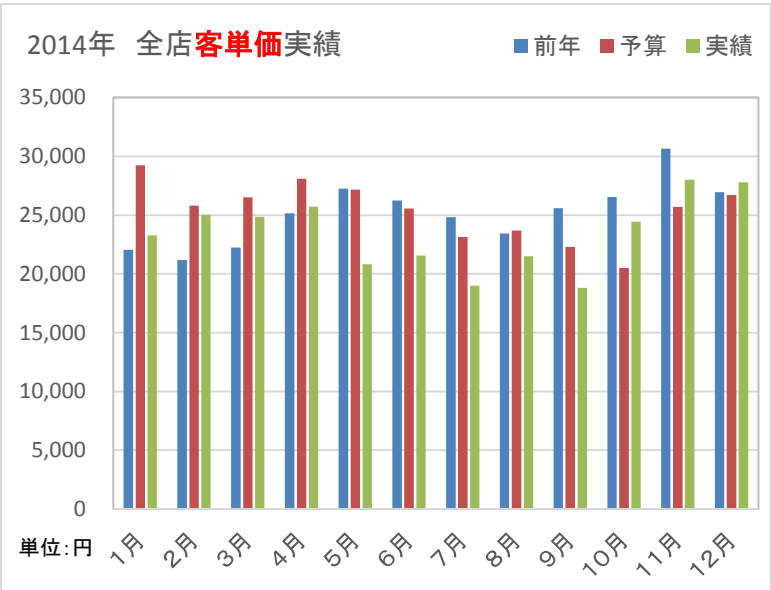
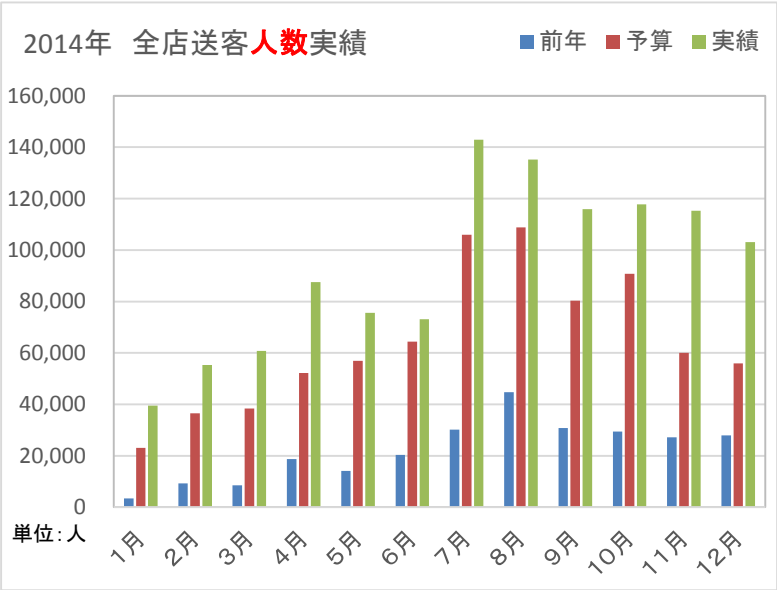
- 1930年 谷口正治氏によって創業
- 1945年 谷口電機株式会社設立
- 1973年 社名をラオックス株式会社に変更
- 1990年 ザ・コンピューター館開館など90年代家電量販市場を牽引
- 1999年 東証第2部に上場
- 2001年 売上高2,000億円を突破。TVCMにより広く世間に知られる
- 2002年 カメラ量販店による市場浸食。同業種間での低粗利競争激化により赤字転落。以降、再生ファンド2社入るも回復できず。次々と店舗閉鎖。
- 2009年 蘇寧電器股份有限公司及び日本観光免税株による出資を受け、事業の立て直し開始。免税事業本格化に伴い秋葉原本店リニューアル。
- 2010年 時計専門店「WATCH」、お台場に「ヴィーナスフォート店」銀座に「銀座松坂屋店」オープン
- 2011年 北海道に「新千歳空港店」、中国に「南京樂購仕生活広場銀河店」オープン
- 2012年 九州最大の免税店「キャナルシティ博多店」
- 2013年 新スタイルの大型免税店「銀座本店」オープン
- 2014年 新店7店舗オープンし、免税事業で確固たる地位を形成。14期ぶりの連結黒字達成

* 蘇寧電器股份有限公司は蘇寧雲商集團股份有限公司へ社名変更しております。

【事業構造】



国内免税店舗(専門店2店除く)データ

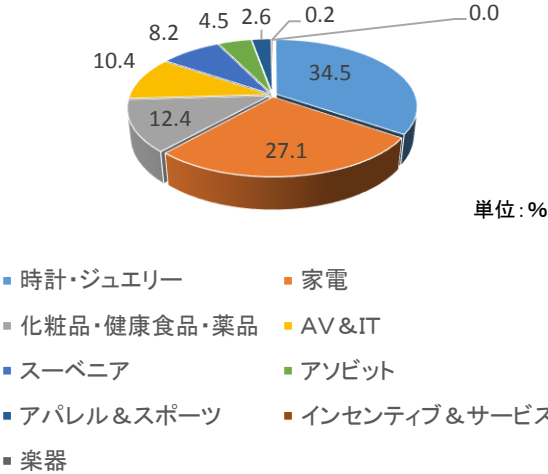


2014年全店送客人数
実績(中国人客)

2014年	合計
前年全店送客実績	264,594
全店送客実績	1,121,944
前年比	324.0%
訪日中国人全体	2,409,293
全体比	46.6%

*送客人数は延べ人数です。
* 訪日中国人数はJNTO統計値

商品構成率(売上額)



札幌店/20140125/105坪/ノルベサ



新千歳空港/20110205/44坪/空港内規制エリア



千歳アウトレットモール・レラ店/20140803/37坪



秋葉原本店/19460919/705坪/20090925リニューアル



銀座本店/20131128/202坪/中央通り路面店



大阪道頓堀店/20140628/90坪/3月増床200坪へ



ビーナスフォート店/20100928/235坪/お台場



りんくうシークル店/20140928/49坪/関空隣接



関西国際空港店/20130806/23坪/空港内



大阪上海新天地店/20100908/90坪/日本橋



岡山空港/20140824/16坪/空港内



福岡キャナルシティ博多店/20120427/1,075坪



長崎グラバー通り店/20140801/11坪/観光地



沖縄国際通り店/20140310/72坪/国際通り



沖縄あしびいな店/20120921/103坪/アウトレットモール



WATCH/20100923/141坪/新宿通り時計専門店

【ウォッチ】
WATCH





平成 26 年 11 月 14 日

各 位

ラオックス新宿本店 来春オープンへ

ラオックス株式会社(東京都港区・代表取締役 羅 怡文 証券コード:8202、以下「当社」という)は、来春、東京新宿に、「ラオックス新宿本店」を新規出店することとなりましたのでお知らせいたします。

日本政府観光局より発表されている、今年9月までの訪日外客数は、2013 年2月より 20 か月連続で前年比増(17.1%増～41.2%増)であり、1～9月の累計は 973 万人と昨年年間実績の 1036 万人に迫る勢いとなっています。

当社は、昨年 11 月に旗艦店である「ラオックス銀座本店」を開業、当初発表した目標年商 30 億を大幅に上回るペースで成長しております。今年に入りまして、7店舗を新たに开店し、全国ネットワークを広げております。

新宿は、世界一の乗降客数を誇るターミナル駅であり、日本で最大級の商圈のひとつとすることができます。近年では、外国人観光客の姿も多く見られ、東京都の「平成 25 年度国別外国人旅行者特性調査」によると、訪問した場所、一番期待していた場所、一番満足した場所のいずれの最多も新宿であり、実に 55.6%が、新宿を訪れたと回答していることから、訪日外国人観光客に認知度の高いエリアとすることができます。当社は、「ラオックス新宿本店」を旗艦店と位置付け、増加する海外からのお客様のニーズに応えるべく、新たな商品やサービスを導入する予定です。

今回掲げるコンセプトは、「Japan Premium」。これまで当社が培ってきた海外のお客様にご満足いただける店舗を更に進化させ、多言語対応、スムーズな免税処理で欲しい商品が買えるだけでなく、お買い物を楽しんでもらえるよう、これまでにない商品の魅力やくつろぎの空間を提供し、驚きと感動を与えられる日本ならではおもてなしを表現した、「プレミアム」な店づくりを目指します。

どうぞ、ご期待ください。今後も当社は、全国免税ネットワークの更なる強化に向け、積極的な店舗展開に邁進してまいります。

「ラオックス新宿本店」の店舗概要

住 所 : 東京都新宿区新宿 3 丁目 1-20 ブラザー・交通公社新宿共同ビル 5F～8F

店 舗 面 積 : 約 2140.58 m²

開 店 予 定 日 : 平成 27 年6月